



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 タイガースポリマー株式会社  
 コード番号 4231 URL <https://tigers.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 澤田 宏治  
 (氏名) 井上 宏章  
 TEL 06-6871-8060

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	9,220	4.4	227	41.8	288	36.6	28	53.0
2021年3月期第1四半期	8,834	13.9	160	68.8	210	57.8	60	79.8

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,105百万円 ( %) 2021年3月期第1四半期 563百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	1.42	
2021年3月期第1四半期	3.03	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	45,253	32,479	68.3
2021年3月期	43,875	31,573	68.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 30,907百万円 2021年3月期 30,153百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		10.00	10.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	39,700	8.5	1,200	4.2	1,350	7.5	600	22.0	29.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期連結累計期間の業績予想は公表しておりません。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	20,111,598 株	2021年3月期	20,111,598 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	106,091 株	2021年3月期	105,982 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	20,005,540 株	2021年3月期1Q	20,005,793 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済情勢は、国内では、新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド需要の減少や外出自粛が継続しており、海外では、ワクチン接種が先行している地域はあるものの、米中対立の継続や半導体不足等で依然として先行き不透明な経営環境でありました。

このような環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高9,220百万円(前年同四半期比385百万円 4.4%増加)、営業利益227百万円(前年同四半期比67百万円 41.8%増加)、経常利益288百万円(前年同四半期比77百万円 36.6%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益28百万円(前年同四半期比32百万円 53.0%減少)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 日本

自動車部品の販売は減少しましたが、産業用ホース・家電用ホース・ゴムシートの販売が増加し、売上高は5,053百万円(前年同四半期比133百万円 2.7%増加)となりました。ロイヤリティ収入が増加した影響もあり、セグメント利益(営業利益)は231百万円(前年同四半期比134百万円 139.8%増加)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。)等の適用により、得意先から有償で支給される部品・原材料について、売上高と売上原価の総額表示から売上高の減額表示に変更したことにより、売上高と売上原価がそれぞれ233百万円減少しております。

#### ② 米州

米国では、自動車部品は、販売が減少したことに加えて労務費が増加し、減収・減益となりました。産業用ホースは、販売が増加したことにより、増収・増益となりました。メキシコでは、自動車部品の販売が減少したことに加えて諸経費が増加し、減収・減益となりました。その結果、売上高は3,016百万円(前年同四半期比67百万円 2.2%減少)、セグメント損失(営業損失)は135百万円(前年同四半期はセグメント損失12百万円)となりました。

#### ③ 東南アジア

タイでは、自動車部品の米州向け販売が増加しましたが国内販売が減少し、減収・減益となりました。マレーシアでは、家電用ホースの販売は減少しましたが円安による為替換算上の影響があり、微増収・微増益となりました。その結果、売上高は711百万円(前年同四半期比14百万円 2.0%減少)、セグメント利益(営業利益)は56百万円(前年同四半期比4百万円 6.7%減少)となりました。

#### ④ 中国

杭州では、自動車部品・家電用ホースともに販売が増加し、増収・増益となりました。広州でも、自動車部品の販売増加や利益率の改善により、増収・増益となりました。その結果、売上高は1,321百万円(前年同四半期比525百万円 66.1%増加)、セグメント利益(営業利益)は63百万円(前年同四半期はセグメント損失1百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,377百万円増加し、45,253百万円となりました。これは主として、棚卸資産が821百万円増加したこと、有形固定資産が463百万円増加したこと、無形固定資産が109百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が190百万円減少したこと、投資有価証券が216百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ472百万円増加し、12,773百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が207百万円増加したこと、未払金が161百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ905百万円増加し、32,479百万円となりました。これは主として、為替換算調整勘定が1,010百万円増加したこと、利益剰余金が171百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,790,604	10,732,025
受取手形及び売掛金	9,267,039	9,076,884
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	2,030,207	2,309,823
仕掛品	204,348	235,665
原材料及び貯蔵品	1,693,603	2,204,519
その他	463,413	917,245
流動資産合計	24,949,216	25,976,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,371,936	13,357,730
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,430,605	△7,681,636
建物及び構築物（純額）	4,941,331	5,676,093
機械装置及び運搬具	24,845,185	25,261,065
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,549,858	△20,861,592
機械装置及び運搬具（純額）	4,295,326	4,399,473
工具、器具及び備品	11,605,750	12,196,383
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,209,990	△10,517,578
工具、器具及び備品（純額）	1,395,759	1,678,805
土地	2,142,765	2,194,729
建設仮勘定	1,486,801	773,606
その他	319,365	285,518
減価償却累計額	△140,168	△103,864
その他（純額）	179,196	181,654
有形固定資産合計	14,441,180	14,904,363
無形固定資産	573,597	683,335
投資その他の資産		
投資有価証券	3,445,909	3,229,425
繰延税金資産	230,445	230,796
その他	238,363	232,171
貸倒引当金	△3,246	△3,246
投資その他の資産合計	3,911,472	3,689,148
固定資産合計	18,926,251	19,276,846
資産合計	43,875,467	45,253,011

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,120,075	2,327,779
電子記録債務	1,711,594	1,802,335
短期借入金	657,940	650,000
1年内返済予定の長期借入金	350,000	350,000
未払金	1,852,283	2,013,656
未払法人税等	272,427	127,948
賞与引当金	354,692	141,762
役員賞与引当金	17,500	4,537
その他	171,131	512,437
流動負債合計	7,507,644	7,930,457
固定負債		
長期借入金	2,100,000	2,050,000
退職給付に係る負債	2,020,165	2,020,164
資産除去債務	16,408	16,500
繰延税金負債	489,060	571,219
その他	168,335	185,440
固定負債合計	4,793,969	4,843,324
負債合計	12,301,613	12,773,782
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,149,555	4,149,555
資本剰余金	3,900,679	3,900,679
利益剰余金	22,009,747	21,838,173
自己株式	△57,914	△57,964
株主資本合計	30,002,068	29,830,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,215,922	1,131,382
為替換算調整勘定	△1,094,280	△83,981
退職給付に係る調整累計額	30,173	29,919
その他の包括利益累計額合計	151,816	1,077,320
非支配株主持分	1,419,969	1,571,463
純資産合計	31,573,854	32,479,228
負債純資産合計	43,875,467	45,253,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	8,834,815	9,220,441
売上原価	7,270,322	7,491,556
売上総利益	1,564,493	1,728,885
販売費及び一般管理費	1,404,016	1,501,322
営業利益	160,477	227,562
営業外収益		
受取利息	12,443	8,497
受取配当金	28,642	28,887
不動産賃貸料	13,850	11,402
受取補償金	53,553	12,466
その他	16,672	24,241
営業外収益合計	125,162	85,495
営業外費用		
支払利息	4,196	7,986
不動産賃貸原価	5,218	8,911
為替差損	63,702	5,926
その他	1,608	2,108
営業外費用合計	74,725	24,933
経常利益	210,914	288,124
特別利益		
固定資産売却益	638	1,764
特別利益合計	638	1,764
特別損失		
固定資産売却損	266	-
固定資産除却損	946	655
特別損失合計	1,213	655
税金等調整前四半期純利益	210,339	289,233
法人税、住民税及び事業税	79,412	90,874
法人税等調整額	27,350	117,300
法人税等合計	106,763	208,175
四半期純利益	103,576	81,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	43,011	52,576
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,565	28,482

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	103,576	81,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	153,450	△84,540
為替換算調整勘定	△824,882	1,109,216
退職給付に係る調整額	3,927	△254
その他の包括利益合計	△667,504	1,024,421
四半期包括利益	△563,928	1,105,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△598,350	953,986
非支配株主に係る四半期包括利益	34,422	151,493

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

当会計基準の適用による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える主な影響は以下のとおりです。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に影響はありません。

#### (1) 有償受給取引

得意先から有償で支給される部品・原材料について、従来は「売上高」と「売上原価」を総額表示しておりましたが、「売上高」の減額として表示しております。この結果、「売上高」と「売上原価」がそれぞれ233,008千円減少しております。

また、得意先から有償で支給される部品・原材料の期末棚卸高について、従来は「原材料及び貯蔵品」として、または、「商品及び製品」「仕掛品」に含めて表示しておりましたが、「流動資産のその他」に表示しております。この結果、「流動資産のその他」が16,630千円増加、「商品及び製品」が13,954千円減少、「仕掛品」が596千円減少、「原材料及び貯蔵品」が2,078千円減少しております。

#### (2) 有償支給取引

買戻し契約に該当する有償支給取引については、金融取引として有償支給先に残存する支給品について棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について「有償支給取引に係る負債」を認識しております。この結果、「原材料及び貯蔵品」が48,982千円増加、「流動資産のその他」が82,784千円増加、「流動負債のその他」が131,766千円増加しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	東南アジア	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	4,599,638	3,080,142	610,521	544,513	8,834,815
セグメント間の内部売上高 又は振替高	320,926	3,856	115,898	251,013	691,694
計	4,920,564	3,083,999	726,419	795,526	9,526,510
セグメント利益又は損失(△)	96,412	△12,212	60,673	△1,935	142,938

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	142,938
セグメント間取引消去等	17,538
四半期連結損益計算書の営業利益	160,477

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	東南アジア	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	4,597,734	3,015,578	541,919	1,065,208	9,220,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	455,992	577	170,050	255,806	882,427
計	5,053,727	3,016,156	711,970	1,321,014	10,102,868
セグメント利益又は損失(△)	231,189	△135,523	56,637	63,774	216,078

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	216,078
セグメント間取引消去等	11,484
四半期連結損益計算書の営業利益	227,562

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「日本」の売上高が233,008千円減少しております。なお、セグメント利益への影響はありません。